2017年2月6日

日本金融学会会員各位

日本金融学会2017年度秋季大会

プログラム委員会

**日本金融学会2017年度秋季大会のご案内と報告論文の募集について**

日本金融学会2017年度秋季大会を2017年9月30日(土)・10月1日(日)の両日、鹿児島大学（郡元キャンパス）において開催することとなりました。ここにご案内申し上げますとともに、自由論題の報告を下記のとおり募集いたしますので、奮ってご応募ください。

記

**応募期限：2017年6月30日（金）当方必着**

**応募資格：**日本金融学会の個人会員、および賛助団体・特別会員の登録会員

※ 非会員の場合は、報告申し込み以前に、学会への入会申し込みを済ませておくことが必要です。

**応募内容：**以下の1および2

1. 申込書：別紙「報告申込書」に以下の内容を記載したもの
2. 報告希望者氏名（日本語・英語の双方）、所属（日本語・英語の双方）
3. 報告論文共著者氏名（日本語・英語の双方）、所属（日本語・英語の双方）
4. 報告論題（日本語・英語の双方。印刷配布されるプログラムに掲載を希望する方に○をつける。）
5. 報告言語（日本語・英語のうちいずれかを指定）
6. キーワード（3語）
7. 報告の該当セッション（以下のセッション案から選択）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| A　金融理論 | B　金融政策・金融マクロ | C　金融仲介機関 | D　金融市場分析 |
| E　証券投資分析 | F　行動ファイナンス | G　国際資本移動 | H　為替・通貨 |
| I　 金融制度 | J　企業金融 | K　プルーデンス政策 | L　金融史 |
| M　保険・リスクマネジメント | N　地域・中小企業金融 | O　各国金融 | P その他 |

1. 報告希望者の住所・連絡先（メールアドレス、電話・FAXを含む）
2. 希望する討論候補者2名の氏名、所属、住所・連絡先（メールアドレス、電話・FAXを含む）
3. 報告内容を示す資料：「報告要旨」(2部)と「フルペーパー」(2部)

なお、フルペーパーのない申し込みは無効となりますのでご注意ください。

**応募方法**：以下の方法で申し込んでください。「報告申込書」のWORDファイルは学会ホームページの「全国大会」ページで入手できます。採択された場合、「報告要旨」は学会ホームページにそのまま掲載されますので、別紙「報告要旨の執筆要綱」に従って作成してください。

学会ホームページの「全国大会」ページにある「大会報告申し込み」をクリックし、必要事項を記入して申し込む。その際、「報告申込書」「報告要旨」「フルペーパー」の各ファイルをアップロードすることが要求されます。なお、前回の大会より、学会ホームページを経由した申し込みに一本化されております（メールによる申し込みはなくなっております）ので、十分にご注意ください。

さらに、**「報告申込書」(2部)、「報告要旨」(2部)、「フルペーパー」（2部）を印刷して、下記住所に郵送**してください。応募期限はすべて同じです。

**応募先**：〒890-0065

鹿児島市郡元1丁目21番30号　鹿児島大学法文学部経済情報学科（永田邦和研究室）

メール： kunagata@leh.kagoshima-u.ac.jp

[TEL：](TEL:042-580-8298) 099-285-3491

なお、報告者・討論者の決定はプログラム委員会が行います。審議の状況によっては、ご希望に添えない場合もありますことを、あらかじめご了承ください。

以上

日本金融学会2017年度秋季大会　鹿児島大学（郡元キャンパス）2017年9月30日(土)・10月1日(日)

**報告申込書**

|  |  |
| --- | --- |
| **報告希望者氏名** **\*** | 和文　　　　　　　　　　　　　　　　　　英文 |
| **報告希望者所属** **\***  報告時に大学院生の場合は  「大学院生」欄の「はい」を  ○で囲んでください。 | 和文　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（大学院生ですか　　はい　）  英文 |
| **学会所属の有無**  該当するものに  〇をつけてください。 | 個人会員（正会員）　　　法人会員等　　　　非会員（申請済ですか　はい　） |
| **報告論文共著者氏名** **\*** | 和文　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 英文 |
| **報告論文共著者所属** **\*** | 和文 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　英文 |
| **報 告 論 題** **\***  配布プログラムに掲載を  希望する方（和文または英文）に○をつけてください。 | 和文  英文 |
| **報告言語** | 日本語 　　　　英語 　　　　（いずれかに必ず○） |
| **キーワード（3語）** |  |
| **報告論文の該当セッションに○をつけてください。** | A 金融理論 B 金融政策・金融マクロ C 金融仲介機関 D 金融市場分析  E 証券投資分析 F 行動ファイナンス G 国際資本移動　H 為替・通貨  I 金融制度 J 企業金融 K プルーデンス政策　L 金融史  M 保険・リスクマネジメント　N 地域・中小企業金融 O 各国金融　　P その他 |
| **報告内容** | 「報告申込書（この用紙）」(2部）、報告言語で執筆された「報告要旨」(2部）、「フルペーパー」(2部）を印刷して郵送し、それとは別に、3つのファイルを学会ホームページ経由でお送りください。報告要旨の様式は別紙「報告要旨の執筆要領」を参照ください。 |
| **報告希望者住所** | 〒 |
| **メールアドレス** |  |
| **連絡先電話番号** |  |

上記項目はすべて記入して下さい。　\* がついている項目は、必ず日本語と英語両方の表記をして下さい。

希望する討論候補者2名についてご記入ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 氏名 |  |
| 所属 |  |
| メールアドレス |  |
| 1. 氏名 |  |
| 所属 |  |
| メールアドレス |  |

※討論者はプログラム委員会が決定しますので、上記の方々が討論者とならない場合もあります。

**応募期限 　2017年6月30日(金) 当方必着 （学会ホームページ経由、郵送は同じ締切日です）**

**報告要旨の執筆要綱**

日本金融学会ホームページ委員会

大会準備委員会・プログラム委員会より、皆様に報告要旨の執筆依頼があったことと存じます。この報告要旨は、学会のホームページ（ＨＰ）に掲載されます（\*）。皆様の作成された報告要旨ファイルは、そのままPDFファイルに変換され、ＨＰに掲載されますので、以下の執筆要綱を必ずお守りくださるようお願いいたします。ＨＰに掲載されたファイルの内容と体裁につきましては、ご報告者の責任となりますので、あらかじめご了承願います。

＊ 2008年度より、従来報告要旨を掲載しておりました『金融学会会報』（紙媒体）は廃止され、ＨＰのみの掲載となりました。

なお、作成していただいた報告要旨ファイルは、学会ホームページを経由して大会準備委員会・プログラム委員会に提出していただきます。提出期限につきましては、大会準備委員会・プログラム委員会からの指示に従ってください。

**＜執筆要綱＞**

**ファイル名** ： 次のルールに基づいて作成してください。すべて半角で、（2017年度春季を意味する）17S- を先頭に付け、第一著者のフルネームを英小文字で表記する。たとえば、17S-ogawaeiji.doc のようになる。かりに2つの報告を行う予定がある場合は、区別するために、フルネームの最後に1、2の番号を振る。たとえば、17S-ogawaeiji1.doc のようになる。

**ファイルの種類** ： MS-WORD（不可の場合はテキストファイル）

**用紙サイズ** ： Ａ４判

**用紙余白** ： 上下左右とも30mm（85.05pt）を標準とする。

**１枚あたり字数** ： 全角計算で40字×34行を標準とする。

枚数制限：１枚（サーバーの容量もあり、必ずお守りください。）

**フォントの種類** ： 日本語はMS明朝、英語・英数字は半角Centuryを標準とする。

**フォントのサイズ** ： 10.5ポイントを標準とする（タイトルは別）

**タイトル** ： 12ポイント、太字、センタリング（複数行可）

**所属・氏名** ： 右寄せ（所属は機関名のみとし、部署名は省略）

注：大学院生の場合は「＊＊大学大学院生」と表記

各段落の先頭に１マス分（英語の場合は１タブ分）の空白を入れる。

具体例として、学会ホームページ＜http://www.jsmeweb.org＞の全国大会ページに掲載されている過去の大会の報告要旨を参照してください。